

# 中小企業・地域普及研究会の活動

2011年4月13日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)  
中小企業・地域普及研究会

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 1. 研究会活動の概要

## ◆勉強会のミッション

- ・＜中小企業へのBCP普及＞の一助を担う。普及のための調査研究をおこない、具体的な方策を提言する。その成果として＜地域へのBCP普及＞に寄与すること。
- ・各地の地域勉強会の横断的な情報交換の場としての機能を果たし、相互の成果を共有して地域普及を支援すること。

## ◆現在の勉強会参加者 34名

- ・業種：大学、行政、団体、製造、販売、金融、保険、自営、建設、コンサルタントほか

## ◆研究会活動 地方居住者が多いため**メーリングリスト活用**

- ・会合開催
- ・情報提供（ML発信）
- ・見学会参加
- ・“会議室”（MLでの議論）

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

## 2. 会合開催

◆9月29日に東京で会合開催、7名の参加があった。

◆研究会の取り組みについて議論した。

- ①当研究会は、単に「BCPをイロハから学びたい」という要望に応える場ではない。経験や情報を共有し議論（研究）する中で、中小企業や地域への普及に資するものであること。
- ②中小企業への普及については、ステップアップガイドや「訓練」を手がけるなかで、指導法や教材の開発について研究に取り組むこととする。
- ③地域普及については、実際に取り組んできた人、これから取り組もうという人がいて、先駆者のアドバイス、情報・ツールの共有などに対する要望に応えたい。
- ④当研究会は、メーリングリストに頼るだけではダメ。メンバー同士が面と向かって議論する機会も設ける。
- ⑤しかし、今後会合した場での議論を、参加できないメンバーに的確に伝えることも必要。座長に限らずメンバー各位からも積極的に情報発信していきたい。

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 3. 情報提供①（ML発信）

## ◆ ITBO研究会特別勉強会「9.11から学ぶ」参加報告

- ・邦銀関係者の体験談を聞く。
- ・想定外シナリオへの対応力（まさに今回の大震災で実感...）、訓練の重要性、危険の分散（選択肢、複線化）など示唆に富む内容であった。

## ◆情報ソース「防災科研 災害種別リンク集」紹介

・<http://www.bosai.go.jp/library/link/Disasterlinks/Disasterlinks.htm>

## ◆第4回月例講習会参加報告

- ・「BCにおけるファイナンス」講師 ファイナンス研究会 高橋座長  
ファイナンスの種類別に課題と改善点が示された。
- ・「ITBO研究会における訓練の研究」講師 ITBO研究会 川村座長  
BCP訓練に必要な視点、BCP訓練のあるべき姿が示された。

## ◆情報ソース「中小企業庁BCP策定掲載企業」紹介

・[http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/contents/bcpgl\\_case.html](http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/contents/bcpgl_case.html)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

## 4. 情報提供②（ML発信）

### ◆第7回月例講習会参加報告

- ・「都市型震災と事業継続計画における地域貢献・連携の研究」講師 地域貢献・連携研究会 鍵屋座長  
BCPに明確な地域連携の項目を位置づけること。具体の策定にあたり標準項目を網羅することなどが示された。
- ・「生き延びるための防災貢献活動～地域に根ざす建設業者がやるべきこと」講師 株式会社山田組 山田社長  
当初は営業目的ではと警戒されたが、現在は理解を得たとともに公共工事の総合評価にもメリットが出てきたことが示された。

### ◆埼玉県内流通団地BCP策定支援事業の完了報告

- ・NPO法人シビルサポートネットワーク辻田代表理事より
- ・3年前から中小企業BCP普及に取り組んできた。日経新聞埼玉版1月27日掲載

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 5. 見学会参加

## ◆内閣府・国交省防災拠点「そなエリア東京」見学

- ・11月26日、ITBO研究会主催、BCP維持管理研究会、公的組織BCP・法環境研究会、関西支部勉強会とともに参加
- ・防災体験ゾーン・防災学習ゾーン、緊急災害現地対策本部、地下免震施設の見学
- ・初動体制の確立、他の防災機関との連携、人材育成、施設の充実等について議論を交わす合同研究会を実施した。

## 6. “会議室”（MLでの議論）

◆質問：内閣府や中小企業庁のガイドラインでBCPを作成している企業は、将来のISO化（認証制度の導入）までBCP策定を待とうという事態にならないだろうか？

- ・意見：ISO化は点検、訓練、改善、経営者の見直しを求めるマネジメントシステムの確立を目指すもの。BCPは事業継続そのものを目指すものであり峻別が必要、認証を取得するのは任意ではないか。
- ・意見：ステップアップガイドを用いるとBCPがうまく策定できるが、マネジメントシステムを構築する方法については実践的な記述がないという課題もある。
- ・意見：BCPも一度策定すると、継続改善のためのモチベーションを維持するのは簡単ではない。そこで認証を取得しておけば、否応なく継続改善をしなければならず良い意味で足かせとなる。
- ・意見：要は企業がISO化やBCPに何を目指し、何を期待しているかであり、今模様眺めという話しではなく、選択し実行すべきだと思う。

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

特定非営利活動法人  
事業継続推進機構  
中小企業・地域普及研究会

A Specified Non-Profit Japanese Corporation  
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)